

森林総合研究所プレスリリース

ホームページに掲載したプレスリリースをご紹介します。詳しくお知らせになりたい方は、下記案内より当所ホームページをご覧ください。

●2019年6月12日掲載

新潟大学災害・復興科学研究所と森林研究・整備機構森林総合研究所との連携協定の締結について

―森林の機能を活かした積雪地域の防災減災研究の推進―

森林総合研究所は、新潟大学災害・復興科学研究所と、教育、研究、地域貢献及び国際交流等の各面にわたって広く協力し、わが国の学術の



連携協定締結にて。新潟大学災害・復興科学研究所 河島克久所長(右)と森林研究・整備機構森林総合研究所 沢田治雄所長(左)

発展と人材の育成に寄与するため、2019年6月19日に協定を締結しました。

多種多様な自然災害に見舞われる日本列島では、災害をもたらす自然現象の理解を深めて防災減災に役立つ研究を進め、さらに災害からの復興に寄与することが大学や研究機関に求められています。近年は、豪雪、豪雨、地震等の極端気象に起因する災害も多く、地球温暖化の影響による気象災害の増加が懸念されています。また、複数の災害が重なって被害が大きくなる複合災害への危機感も高まっており、専門分野や所属機関の異なる研究者が迅速に連携して災害調査や対策にあたるための協力体制を築いておくことも重要となっています。新潟県をはじめとする積雪地域においては、雪崩や大雪に伴う災害が多く、これまでも森林総合研究所十日町試験地の研究者を中心に新潟大学と連携して、調査・研究を実施してきました。

森林は、国土保全、水資源かん養、環境保全等の多面的機能を有しています。これらの機能を高度に発揮して自然災害の防止・

軽減につなげる研究や技術開発が期待されています。災害・復興科学研究所と森林総合研究所は、この協定に基づき、両者の組織的な連携を強化し、森林の災害防止機能の解明、自然災害のリスク評価や予測、防災減災技術に関する研究を推進します。さらに、研究成果の社会還元および教育、人材育成等を通して、国土の保全や災害に対して適応能力が高い強靱な社会の構築に貢献していきます。

森林総合研究所研究報告

▼論文

日本の固有の針葉樹クロベの現在の分布及び気候範囲(英文)

James R. P. Worth

統計資料に基づく36年間の日本の民有人工林における干害被害の推移と地域性

吉藤奈津子、鈴木寛、玉井幸治

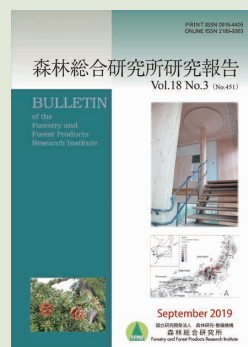
地がきカンバ更新地における表層土壌の理化学性からみた地がき攪乱の残存状況

伊藤江利子、橋本徹、相澤州平、古家直行、石橋聡

▼短報

ニホンジカの被害対策に伴う人工林皆伐跡地の植生変化

酒井敦、大谷達也、宮本和樹、八代田千鶴、藤井栄



▲森林総合研究所研究報告

Vol. 18 No. 3 (通巻 451 号)

2019年9月

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/bulletin/index.html>

菌床シイタケ栽培施設で発生したシワバネキノコバエ *Allactoneura akasakana* Sasakawa, 2005 (双翅目キノコバエ科)
翅目キノコバエ科
末吉昌宏、向井裕美、北島博、黄俊浩

▼研究資料

北海道札幌市羊ヶ丘で捕獲されたコウモリにおける体サイズの雌雄差と季節変動
平川浩文

森林総合研究所四国支所構内の野生植物目録―2019年改訂版
酒井敦



P.3



P.8, 14



P.8, 16



P.3, 8, 14



P.18上、20



2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

▲持続可能な開発目標 (SDGs)

森林総合研究所は、森林・林業・木材産業等の幅広い研究を通して、国連の持続的な開発目標 (SDGs) の達成に積極的に貢献しています。該当する目標と記事のページ数は、左記の通りです。

プレスリリース等の最新情報はこちらから→

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/topics/index.html>

お問い合わせ

森林総合研究所

企画部 広報普及科 広報係

TEL 029-829-8372

Email kouho@ffpri.affrc.go.jp

